

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成22年9月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4691200218号
法人名	ケアサポート霧島
事業所名	グループホーム きりつま
所在地	鹿児島県霧島市霧島大窪63-2 (電話) 0995-64-8095
自己評価作成日	平成22年7月14日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kagoshima-kaigonet.com/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成22年7月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設の場所としては、自然あふれる霧島の地で美味しい空気を体一杯に取り入れ気持ちよく過ごせる場所にある。利用者との関係では、利用者とその家族に対して、職員が同じ家族のように接している。利用者が病院に入院した時などは職員が頻繁に面会に行き、精神的不安の解消や退院後の生活のスムーズな移行に努めている。又退所した後も利用者やその家族との関係作りをしていて、家族の介護に対する相談などに乗っている。医師との連携は特に密で、異常時は24時間対応していただけの関係である。専門的治療などが必要な場合は医師の指示のもとスムーズな対応がとれている。職員は利用者に対して人生の大先輩との意識を持って常に敬いの心を持って接している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

霧島の麓、自然環境に恵まれたのどかな田園地帯に立地し、ホームから日豊本線を走る列車を見ることが出来る。ホーム裏手には小川が流れ、周りの景色は四季を感じさせてくれる。過去の集中豪雨の際は、地域の方々と消防団の協力により、利用者全員を無事に避難させることができた。日頃からの地域との交流が災害対策にも結び付き、地域の協力の重要性を改めて認識する機会となった。医療面も地域の協力医との連携が密に図られており、家族の安心と夜勤の職員の不安軽減につながっている。職員間のコミュニケーションも良く、意見、提案などが活発に出され、全員が担当・役割を持って、職員の意識向上と仕事のやりがいにつながっている。また、利用者の嗜好をできるだけ献立に取り入れて、手作りで食材をふんだんに使った食事を利用者・職員は会話をはずませながら楽しんでいる。ときには、外食(焼肉、ラーメン、回転すし、ファミリーレストランなど)に出かけたり、菜園の野菜やホームの周りで収穫できる山菜、菜の花などを使って季節を感じながら「食」を楽しんでいる。管理者、職員の信頼関係が構築されて、質の高いサービスの提供が利用者の心身の向上につながり、明るい笑い声が聞かれる家庭的なグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
. 理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>理念は常に認識しており、全体会のたびに声に出し再確認している。</p>	<p>職員全員が地域密着型サービスとしての意義を理解し、納得して作り上げた理念である。霧島の風景の写真をバックにして玄関に掲示している。また、パンフレットにも明記している。職員は常に理念に沿ったケアの実践に取り組んでいる。</p>	
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>散歩の時などの声掛けや挨拶など心がけている。</p>	<p>自治会には加入していないが、地域の催し物（六月灯、敬老会など）への招待があり地域の一員として受け入れられている。また、ホームの夏祭りなどの案内を有線放送で流してもらえたり、近隣の方々が手伝いに来てくれるなど日常的に交流している。近隣の保育園児の訪問や地域の高齢者の見学会など開放的な雰囲気作りに努めている。</p>	
3		<p>事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている</p>	<p>あまり生かしていないように思う。</p>	/	/
4	3	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>行政・民生委員・家族の代表の方に交代で出席していただいて話し合い意見交換している。</p>	<p>民生委員、消防署、家族、職員、行政などの参加を得て2ヵ月に1回開催している。行政関係者からの話題や消防署からのアドバイスなどホームの安全対策やサービス向上に活かされている。家族には交代で参加してもらうようにしており、参加していない家族にもホーム便りを利用して会議の報告を行っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	必要な時は相談に行ったりできる環境である。	相談や助言をもらうなど必要に応じて市の担当者との連携をとるように努めている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束はしないケアに努めていて、これまでもない。	日頃よりことばによる暴力、拘束のないケアに努め、全体会でも身体拘束についての勉強会などを行っている。日中は施錠などせずに安全で自由な暮らしを支援している。また、散歩に出て行く利用者には職員がついて行き、見守っている。庭で夕涼みをしたり、お茶を飲んだりして閉塞感のない生活を支援している。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	採用時に人権侵害ゼロへの誓いの理解をした上で署名し、施設内に掲示しており、絶対あってはイケなとことと認識している。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	少しは分かっているつもりである。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>管理者・主任・ケアマネが対応し説明を行っており苦情等はない。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設けており、利用者などいつでも言える雰囲気作り心がけている。</p>	<p>家族会、来訪時、ケアプラン更新時などに家族から意見、要望を聞き出すようにしている。出された意見、要望については職員全員で話し合い、運営に反映させている。利用者からは日常の関わりの中で会話から要望などを引き出すようにしている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月一回の全体会・各棟でのミーティング等で意見・提案を出す機会をもうけている。</p>	<p>毎月の全体会、各棟のミーティングで意見、提案を聞いている。また、職員は毎朝、両ユニットの利用者にもあいさつをして申し送りを合同で行い、利用者の情報の共有を図っている。入居については事前に職員に情報を提供して意見を聞いている。</p>	
12		<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>上司と個々に面談を設け意見提案を出し合い動きやすい職場環境を作っている。</p>		

鹿児島県 グループホームきりっま 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>全体会等で勉強会を行ったり本人が希望する研修などに参加している。</p>		
14		<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>管理者・ケアマネ・代表者等が研修会などで交流を持ちその結果を全体会にて報告している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所時に本人の思い等じっくり聞くことで安心した生活が出来るように努めている。</p>		
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所時に家族の思い等じっくり聞いてなるべく思いに沿うように努めている。</p>		
17		<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>まず必要としている支援を行ない様子観察しながら追加したり減らしたりしている。</p>		
18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人の出来る所は維持し教えていただくこともあるので良い関係づくりに心がけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族の面会時など現状報告をしながら、又本人と家族の架け橋になるように心がけている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>家族や兄弟などの話をしたり電話などでの支援を行なっている。</p>	<p>担当の職員は利用者の自宅を把握しておくようにしており、墓参りや自宅訪問など支援している。また、友人が訪ねやすいように開放感があるホームの雰囲気作りに配慮している。ときには、ホームを退所した利用者宅へ仲の良かった利用者を連れて遊びに行くなど、なじみの人や場所との関係継続の支援を行っている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>声掛けや見守りで一人一人を尊重し支援している。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用 契約 が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>面会に行ったり様子伺いなどで大切にしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日常的な会話の中や一対一で本人の思い等聞き取り把握している。</p>	<p>職員は一方的な決定はせず、こちらから話題を投げかけて言動や表情などから把握して本人本位に検討している。また、家族からの情報や日常の会話の中から思いや意向の把握に努めている。</p>	
24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入所時や会話の中で聞いたりしている。</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>毎日の記録の中である程度は努めている。</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人の思いを大事に話し合い、達成可能な計画を作成している。</p>	<p>担当者会議に家族も出席してもらい本人、家族の思いや希望、職員の意見など反映した現状に即した本人本位の介護計画を作成している。楽しく生活ができるようにサービス内容を工夫している。出来る限り歩行ができるように足上げ体操を日課に取り入れている利用者もあり、個々に応じた介護計画を作成している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	職員間で申し送りなどで共有し必要に応じて見直している。		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	通院が必要な時など家族がムリな時は介助したり入院されたら面会に行くなどしている。		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	運営推進会議では毎回民生委員・行政の方に出席していただいている。		
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	受けられるようにしている。又専門医との連携も取れるようにしている。	毎週の往診や24時間体制で協力医との連携が図られている。また、本人、家族の状況に応じて受診の支援も行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>現在看護職員はいないが、入所者の体調異変時は医師との連携を密にとっている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>面会に行ったり情報交換に努めている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時より話し合いをもち出来ること、出来ないこと最終的にはどうしたいのかなど聞き、支援に取り組んでいる。</p>	<p>入居時に重度化や終末期に向けたホームの方針を説明して同意をもらっている。また、家族会でも説明しており、利用者の身体状況に応じて、再度、意思確認をしている。看取りについては家族、医師、職員とチームとして支援に取り組んでおり、24時間体制で医療機関との連携が図られている。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>事故発生マニュアルを作成している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防訓練は行なっている。</p>	<p>年2回消防署立ち会いのもと昼夜間想定で避難訓練を行っている。また、自主訓練として連絡網の通報訓練や消防署が到着するまでの5分間にできることの具体的な話し合いなど行っている。集中豪雨の際の避難に地元消防団や地域の方々の協力が得られるなど、地域との協力体制も築いている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉使いには特に気をつけるようにスタッフ間で徹底している。	毎月の全体会で接遇、個人情報保護についての勉強会を定期的に行っており、資質の向上に向けて取り組んでいる。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	何かしたいことはないか常に声掛けしている。	/	/
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	皆の希望に沿うことは困難だがなるべく沿った支援に心がけている。スタッフ側の都合を優先する時もある。	/	/
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	どれを着たいか声掛けしながら支援している。	/	/
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が一番楽しみなので献立を聞いたり、配膳下膳などを一緒に行っている。	食事が安全で楽しみなものになるようにできるだけ、手作りのものを提供している。また、ときには家庭菜園でできた野菜を利用者とともに収穫して、食卓に上げることもある。気分を変えて、外食（焼肉、ラーメン、回転すし、ファミレスなど）に出かけ、利用者の楽しみにもなっている。そば打ちやちまき作り、かからん団子など利用者に教わりながら作っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>月一回の体重測定を行うと共に水分チェックも毎日行っている。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>誤嚥性肺炎予防の為にしている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>夜間帯はオムツ使用にて対応の方でも日中は、その人にあったトイレ介助を行っている。</p>	<p>入居前の情報と排せつチェック表によるこまめな声かけ誘導による排せつの自立を支援している。ホームの方針としておむつ使用はしないケアの取り組みをしている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>三介護の一つとして排便チェックを毎日行い牛乳を飲んで頂いたり、お腹のマッサージなどで便秘にならないようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	曜日を決めて入浴支援をしている。	ユニット間で浴室の使用を毎日可能な状態にしており、個々に応じた入浴の支援を行っている。夏場はシャワー浴で毎日でも可能である。ドライブがてら近くの足湯に行ったり、温泉を楽しむこともある。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	自由に休んでいただいている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ある程度理解しているつもりである。症状の変化などある時は常に医師に連絡している。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	今日は何を食べたか又何をしたいかなど聞いて支援を行なっている。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	散歩はほぼ毎日のように行っているが普段は行けないような所にはあまりいけないと思う。	夕方は夕涼みを兼ねて散歩を楽しんだり、買い物同行など日常的に外に出る機会を作っている。また、ホームの周りでつわや山菜採り、菜の花摘みなどに出かけることもある。花見、ピクニック、外食、駅伝の応援、初午祭見学など、可能な限り外出できるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>今の所本人がおかねを使えるような支援はおこなっていない。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ほとんどの方が自ら電話をかける事が困難なので職員がかけてあげてはなされる事はある。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>その季節にあった飾りつけなどで取り入れている。</p>	<p>共用空間はダイニングとリビングが分かれており、メリハリがある生活を送れるように工夫されている。リビングに畳のコーナーもあり、利用者の昼寝の場所にもなっている。また、キッチンがオープンになっており、利用者が手伝いやすい。外を走る日豊本線の列車を眺めることもできる。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>利用者同士で話しをされている場面をよくみる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入所以前に使用されておられたタンス、座いすなど使い慣れたものを置き居心地よく使いやすいように工夫している。	家族と話し合っ居心地良く過ごせるように居室を工夫している。それぞれに個性的な居室作りがされている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	今の所出来る部分はしていただいて、見守りは十分行い自立できている。		

アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1 ほぼ全ての利用者の
		2 利用者の2/3くらいの
		3 利用者の1/3くらいの
		4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1 毎日ある
		2 数日に1回程度ある
		3 たまにある
		4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1 ほぼ全ての利用者が
		2 利用者の2/3くらいが
		3 利用者の1/3くらいが
		4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36,37)	1 ほぼ全ての利用者が
		2 利用者の2/3くらいが
		3 利用者の1/3くらいが
		4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1 ほぼ全ての利用者が
		2 利用者の2/3くらいが
		3 利用者の1/3くらいが
		4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	1	ほぼ全ての家族と
		2	家族の2/3くらいと
		3	家族の1/3くらいと
		4	ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1	ほぼ毎日のように
		2	数日に1回程度ある
		3	たまに
		4	ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1	大いに増えている
		2	少しずつ増えている
		3	あまり増えていない
		4	全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1	ほぼ全ての職員が
		2	職員の2/3くらいが
		3	職員の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1	ほぼ全ての利用者が
		2	利用者の2/3くらいが
		3	利用者の1/3くらいが
		4	ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1	ほぼ全ての家族等が
		2	家族等の2/3くらいが
		3	家族等の1/3くらいが
		4	ほとんどいない